

インターネットやSNSを安全に利用するために

(令和6年10月22日発信学校だより「いなほ」より抜粋)

本校でも、子どもたちのインターネットやSNS利用に関わるトラブルが増えています。その都度、当該児童には、スマートフォン等の利用について指導し、正しい利用の仕方について共通理解を図っています。また、学年の発達段階に応じ、タブレット端末の利用時等に、気を付けることを指導するなど、情報モラル教育を行っています。

【 学校で指導していること（例） 】

- 相手の傷付くことや、嫌がること、悪いうわさ等を書き込まないこと
- 写真や動画を相手の許可なく撮影・投稿しないこと
- 個人が特定される情報をむやみに教えないこと
- よくない利用を見付けたら、すぐに、大人に相談すること
→ 拡散したり、興味本位で友達に伝えたりしないこと 等

現在、小学生でも、スマートフォンやインターネットに接続するゲーム機等を利用する機会が増えたことに伴い、SNSの利用も増加傾向にあります。しかし、その怖さについては、学ぶ場面が少ないのが実情です。また、知識としては理解していても、**実際の活用場面では、善悪の判断がつかず行動してしまうことがあります。**改めて保護者の皆様には、その危険性をご理解いただくと共に、子どもたち自身に「何がよくないのか」を実感させ、どのような場面においても正しく判断する力を、保護者の皆様の協力をいただいで身に付けさせる必要があると考えております。どうか、ご協力をお願いします。

【 保護者の皆様にご理解・ご協力いただきたいこと 】

- 機能や仕様、利用規約等を理解し、重要な部分をお子様に説明していただくこと
※ 多くのSNS（「LINE」「Instagram」「TikTok」等）やゲーム（「フォートナイト」等）では、13歳以上が利用するよう規約を定めています。**保護者の許可のもと使用を認めているため、保護者の責任で管理することが求められます。**
- 利用してよい時間や制限時間など、スマートフォンやゲーム等の利用についての約束事をお子様と一緒に決めたり、定期的に見直したりすること
- フィルタリング機能やペアレンタルコントロール、年齢制限機能等を使ったり、課金できないようにしたりするなど、お子様が安全に使えるよう機器を設定すること
- お子様が加害者にも被害者にもならないよう、利用状況を見守ること
- 私的な情報機器を学校生活に持ち込ませないこと
(保護者の皆様にも、授業参観等での撮影はご遠慮いただいております。
また、学校行事についても、SNS等での掲載はおやめください。)